

衆議院議員

浅野さとし

活動Letter
No. 7

発行：衆議院議員 浅野さとし 2018年5月号

【厚生労働委員会】働く人のための働き方改革を！

5月25日、政府が今国会の最重要法案と位置づけていた「働き方改革法案」が厚生労働委員会で強行採決され、31日の衆議院本会議で自民・公明などの賛成多数にて可決、参議院に送付されました。

これまで私たちは新党を立ち上げる前から政府提出法案に対する対案の準備を進め、5月8日に議員立法として提出、5月9日には対案提出者の1人として厚生労働委員会で趣旨説明、そして5月18日には与党質問に対し、答弁してまいりました。



向大野新治衆議院事務総長へ対案を提出する浅野議員

対案提出者として趣旨説明を行う浅野議員
(右：加藤厚生労働大臣)

高度プロフェッショナル制度には長時間労働を抑制する内容が不十分であり、過労死の危険性が多く指摘されております。正しい労務管理なくして、健全な労働環境は実現しません。

今回、このような形で強行採決されたことは大変遺憾であり、政府には猛省を求めるとともに引き続き、正々堂々と「対決」ではなく「解決」をめざす議論を行ってまいります。

■政府の働き方改革関連法案と国民民主党の対案の主な違い

政府提出法案	国民民主党案
残業時間の罰則付き上限規制	
繁忙期の上限は月100時間未満。 2～6カ月平均は月80時間以内。	政府案と同じ。
高度プロフェッショナル制度	
年収1075万円超の高度な専門職を対象に本人の同意などを条件に労働時間規制から外す。	導入しない。
裁量労働制	
対象業務の拡大や対象者への健康確保措置の強化を含む内容を法案から全面削除。	健康確保措置の強化や運用要件を厳格化。 違反企業に一定期間、制度の利用禁止。

【プロフィール・略歴】

浅野哲（あさのさとし）。1982年9月25日生まれ（35歳）。青山学院大学大学院修了。

（株）日立製作所日立研究所研究員。日立労組研究所支部執行委員。大畠章宏衆議院議員秘書。

第48回衆議院議員総選挙において初当選。日立市在住。妻と娘の3人家族。

【経済産業委員会】国民民主党の理事に就任

5月7日の国民民主党結党に伴い、経済産業委員会の理事に就任しました。

5月は法案審議・一般質疑として合計4回の質疑に臨み、世耕経済産業大臣に見解を求めました。主な質疑を下記にご紹介します。

※1

・電力多消費産業に対する支援強化を求める（2018年5月30日 一般質疑）

※1 電力使用量が非常に多い主に製鉄業などの基幹産業をいう。



浅野議員

東日本大震災以降、電力料金は家庭用・産業用ともに上昇し続け、特に電力多消費産業においては電気料金の上昇が国際競争上の大きなハンディとなり、各企業は厳しい経営環境に置かれている。電気料金の値下げ以外にも、省エネ設備投資に対する支援などこれまでの延長線上の施策のみならず意欲的な支援を求める。

電気料金の上昇分の価格がしっかり転嫁できるように適正な価格の実現を図っていく。また、省エネ補助金や省エネ投資促進税制等の措置を講じてエネルギーコストの低減ができるように対策を講じていく。



世耕経済産業大臣

【衆議院 インターネット審議中継】
質疑の詳細についてはこちらよりご覧ください。(http://www.shugiintv.go.jp/jp/)

【議員連盟】障がい者施策の拡充を松山大臣へ要請

5月22日、超党派^{※2}インクルーシブ雇用議員連盟として「2019年度予算 障がい者施策の基礎となる統計情報の整備と拡充」を求め、松山内閣特命担当大臣へ申し入れを行いました。

障がい者の安定雇用・安心就労の促進をめざし、当事者団体や市民組織の皆さんと連携・協力しながら積極的な活動を展開していきます。



松山内閣特命担当大臣へ議員連盟メンバーにて申し入れ

※2 障がい者にとって包括的な雇用と安心就労をめざすことを目的とする、同じ志の国会議員で構成される会の略称。

【浅野さとしからのメッセージ】

私の国会活動は、地域や産業の現場からいただく声をもとに組み立てています。皆さんの声をぜひお寄せ下さい！
浅野さとし



皆さんの想いを是非、お聞かせください！

【連絡先】
衆議院議員 浅野哲 国会事務所
〒100-8981 東京都千代田区永田町 2-2-1 衆議院第一議員会館 406号

Mail : g17398@shugiin.go.jp
Tel : 03-3508-7231
Fax : 03-3508-3231